

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公開番号】特開2001-267927(P2001-267927A)

【公開日】平成13年9月28日(2001.9.28)

【出願番号】特願2000-84719(P2000-84719)

【国際特許分類】

H 03 M 3/02 (2006.01)

H 04 B 14/06 (2006.01)

【F I】

H 03 M 3/02

H 04 B 14/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年10月25日(2006.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 1ビットデジタルオーディオデータを任意の平均伝送周波数で伝送出力できると共に、伝送出力するデータには平均伝送周波数を示す情報を附加するようにしたことを特徴とするデータ伝送装置。

【請求項2】 任意の周波数の伝送クロックを発生させることのできる伝送クロック発生手段と、

上記伝送クロック発生手段により発生させる伝送クロックの周波数を設定する設定手段と、

所定のサンプリング周波数の1ビットデジタルオーディオデータを、上記伝送クロック発生手段により発生された伝送クロックを用いて伝送出力すると共に、伝送出力するデータに上記伝送クロックの周波数を示す情報を附加して伝送出力をを行う伝送出力手段と、

を備えたことを特徴とするデータ伝送装置。

【請求項3】 上記伝送出力手段は、有線又は無線で接続された他の機器に対してデータ伝送を行うと共に、

上記設定手段は、上記他の機器の受信能力に応じて伝送クロックの周波数を設定することを特徴とする請求項2に記載のデータ伝送装置。

【請求項4】 上記伝送出力手段は、記録媒体に記録するデータとして1ビットデジタルオーディオデータを伝送出力すると共に、

上記設定手段は、上記記録媒体の種別又は記録可能容量状況に応じて伝送クロックの周波数を設定することを特徴とする請求項2に記載のデータ伝送装置。

【請求項5】 上記設定手段は、上記伝送出力手段が伝送出力する伝送路の種別又は伝送能力に応じて伝送クロックの周波数を設定することを特徴とする請求項2に記載のデータ伝送装置。

【請求項6】 上記設定手段は、上記伝送出力手段から伝送出力しようとする1ビットデジタルオーディオデータのデータサイズに応じて伝送クロックの周波数を設定することを特徴とする請求項2に記載のデータ伝送装置。

【請求項7】 1ビットデジタルオーディオデータを任意の平均伝送周波数で、かつその平均伝送周波数を示す情報を附加した上で伝送出力することを特徴とするデータ伝送方法。

【請求項 8】 伝送クロックの周波数を設定する設定手順と、
上記設定手順で設定された周波数の伝送クロックを発生させる伝送クロック発生手順と

、
上記伝送クロック発生手順で発生させる伝送クロックを用いて、所定のサンプリング周
波数の1ビットデジタルオーディオデータを伝送出力すると共に、伝送出力するデータに
上記伝送クロックの周波数を示す情報を附加して伝送出力を行うようにする伝送出力手順と、
が行われることを特徴とするデータ伝送方法。